

No.584 (改題544号)
2021年
8月10日(火)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4火曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

これでも「パラ」開催強行か!
「爆発的感染拡大」で医療逼迫



女性たちが「オリ・パラ中止!」を訴えて炎天下でスタンディング行動=7月24日、JR元町駅前

この政権では命は守れない
まさに「爆発的感染拡大」だ。新型コロナの1日の新規感染者数が4千を超えた東京や関東だけでなく、全国で急拡大。連日、過去最多を記録し、1日の国内感染者数も1万人を超えた。この事態に、政府は緊急事態宣言を8月2日から31日まで大阪府など4府県に新たに拡大するとともに、兵庫県など5道府県にはまん延防止等重点措置を適用した。だが、「爆発的感染拡大」の可能性はかねてから専門家が指摘してきたことだ。それに十分な危機感を持つことなく、根拠なき楽観主義で五輪の開催を強行し、誤ったメッセージを国民に発してきた政権の責任が問われなければならない。

程度の差はあれ、すでに医療提供体制の危機が深まっている。だが、首相からはこれほどまでに急激な感染拡大が進んだことへの反省や責任の言葉はいっさい聞かされていない。不安や疑問に対しては「まともな答えはない。切り札としてきたワクチン接種にしても、供給が不足してペースダウンしている。逆に来たこれまでの成果を並べて、今後の楽観的な見通しだけ

を述べる。しかもなお、国民には我慢を強いる一方で、パラリンピックも開催強行の姿勢だ。

神戸市のコロナ対策の現状と課題を考える

新社会党神戸市協が市政学習会

今秋には神戸市長選挙が行われ、また2023年には統一自治体選挙が行われる中、今の神戸市政が抱える様々な課題について学習や議論をする

これほど国民の命と暮らしを軽く扱う首相には一刻も早くその座を降りてもらわねばならない。
場として、新社会党神戸市協議会が主催する連続市政学習会の第2回が7月27日、開かれた(写真)。
テーマは「新型コロナ対策の現状・課題と財政問題」で、あわはら富夫市議が報告と問題提起を行った。第5波の感染拡大が続く中、神戸市の感染状況として、直近1週間の感染者は70代以上が1.6%、30代以下が70.2%と第1、4波に比べ65歳以上が極端に減少しており、ワクチン効果が出ているが、オリンピックによる感染拡大は



確実に第4波をはるかに超える感染拡大の可能性があり、医療提供体制に影響がでてくると指摘。そんな状況で市民病院では今でも2割程度の入院・手術等の医療制限が続けられている中、今後の感染予防対策が重要になるとして、つなぐ議員団がかねてから要望してきた高齢・障がい者施設職員への定期的PCR検査は月1回から週1回を目途に行われようとしており、さらに保健師を増員し、過去にクラスターが発生したワクチン未接種の施設を重点的に巡回する「感染症神戸モデル」の強化が図られていると報告された。
参加者からは「保健所の体制強化などでの保健医療体制の構築が必要」「区役所窓口民間委託の問題を市会で追及して欲しい」「新長田再開発事業のさらなる検証が必要」などの意見が出された。
第3回学習会は8月27日(金)18時30分から「神戸市の財政問題」をテーマに神戸市勤労会館で開かれる。
(中村)

つなぐ神戸市議会議員団
3回目の街頭市政報告会

灘区で

「つなぐ神戸市議会議員団」(5人)は第3回となる街頭市政報告会を7月25日、灘区のJR六甲道駅前で行った。
19年の統一自治体選挙後に、共通する方向性や政策でつながり結成した「つなぐ神戸市議会議員団」はこの間、市民と市政、市民と市民をつなぐ会派として精一杯活動を重ねてきたが、その活動の一つが、街頭での市政報告会だ。部屋を飛び出し、街頭で道行く人に訴え、意見を聞く。
今回も、前半は浦上ただふみ(東灘区・無所属)、高橋ひでのり(垂水区・無所属)、あわはら富夫(中央区・新社会党)、小林のみ子(灘区・新社会党)、香川しんじ(西区・神戸志民党)の5人の市議会議員が代わる代わる報告を行った。
後半は、質問タイム。聴衆の中から神戸市の子育て施策、神戸市のモノづくり産業、議員一人ひとりの今一番取り組むべきことなどについての質問が出た。
約30人の聴衆を前に開かれた「つなぐ神戸市議員団」の街頭市政報告会=7月25日、JR六甲道駅前



ひょうご(120)
描き歩き
飾磨津物揚場跡
(姫路市飾磨区)
生野を発して鉱石を運ぶ「銀の馬車道」は、神戸町の福本藩陣屋、宿場町栗貫、屋形、辻川、砥堀を経て終着点「飾磨津」に達する47kmの道程。ここまで運ばれてきた鉱石は、船に移し替えられて瀬戸内海に浮かぶ香川県直島精錬所に運ばれインゴット(地金)になる。この直島、今はアートの島として知られる。
「飾磨津」は山電飾磨駅から南へ浜国をわたると野田川の河口に往時をしのびて存在する。スケッチの右手の浅田化学工業の正門前に「銀の馬車道」の表示がある。界限には倉庫、荷積場が築造され、生野銀山と同じくそこで造られた赤レンガを

使った倉庫等が建てられた。同場所に赤レンガ壁の倉庫の一部と塀が現存している。「飾磨津」は古くから野田川河口に開けた港で、瀬戸内海の往来船や北前船の寄港する港として賑わった。
ここから北に延びる飾磨街道沿いには、「銀の馬車道」が鉄道に取って代わられた後も昭和の初め頃までは蹄鉄屋や馬具店などが軒を並べ大いに繁盛したという。街道沿いには播州の浄土真宗拠点の龜山本徳寺など寺院も多く、また玉地地区には明治中期建立の今村家住宅もある。河口の先には、小豆島や家島に渡る連絡船の姫路港がある。
(嶋谷)

水脈
日本の金ダララッシュを沸かたせる報道の一方で、新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最高を更新していく。テレビ画面では、歓喜に沸く五輪競技会場の光景を背景にして東京の感染者数が3千、4千を超えたとのテロップが流れる。この異様な同居に、大抵の人は違和感を覚えるだろう。だが、違和感どころか、「(新型コロナ対策は)想定内のレベルで対処できている」と平然と言いつつ人々もいる。武藤五輪組織委員会事務総長の会見内容(1日)に驚き、呆れしてしまう。まあ、そりゃさうだろう。「安全・安心」と言い募って開催を強行した手前、口が裂けても「危機的な事態だ」とは意地でも言えない。首相も都知事も、感染の急拡大に五輪が与える影響や五輪との因果関係を否定することに躍起だ。こうして、人心はさらに離れていき、協力を求める国民の心にはなかなか響かない。国民の声を傾けず、五輪開催反対論を「開催されれば国内の雰囲気も変わる」と切り捨て、国民を馬鹿にした言動は、結局は自分たちに返ってくるブーメランになるだろう。国民を馬鹿にした結果はどうなるか、私たちは総選挙でそのお返しをしっかりとしなければならぬ。



兵庫県知事選

維新推薦知事が誕生

金沢和夫氏は及ばず

兵庫県知事選・開票結果 (投票率=41.10%)

当 齋藤 元彦 (無新) =自民、維新推薦	858,782 (46.90%)
金沢 和夫 (無新)	600,728 (32.81%)
金田 峰生 (無新) =共産推薦	184,811 (10.09%)
中川 暢三 (無新)	140,575 (7.68%)
服部 修 (無新)	46,019 (2.51%)

(得票数の後のカッコ内は得票率)

無所属新人5人によって戦われた兵庫県知事選は7月18日投票率で行われ、自民党と日本維新の会が推薦した元大阪府財政課長の齋藤元彦氏(無・新、43歳)が、自民党議員の一部、立憲、国民、社民、新社会の政連や連合、市民団体などが応援した前副知事の金沢和夫氏(無・新、64歳)を破って当選した。投票率は41.10%(前回40.86%)。

新社会党は「維新新政をつくらせなさい」中央支配を許さない県政を」の立場から金沢氏を支援したが、実らなかった。維新推薦の知事の誕生は大阪について全国で2番目。兵庫での維新の伸長が目立ち、今後の県政の行方が注目される。

地域に根ざす会めざす

憲法を生かす会・東灘が総会

憲法を生かす会・東灘は7月21日、第8回総会を開いた。昨年の総会は緊急事態宣言中のため書面議決だったが、今年は何とか議員が顔を合わせることができた。

議事の前にDVD「戦場から見た憲法9条(取材IIイラクの子どもたちを救う会・西谷文和)を鑑賞し、改めて憲法9条の重要性を確認した。

昨年度は、コロナ禍のなかでも毎月1回の定例会、学習会、街頭行動をそれぞれ10回実施し、発行2年目となる会のニュース「憲法だより」を3



7月の街頭行動日は「オリンピックは中止を！」を訴えるスタンディングを行った=7月14日、JR住吉駅前

回発行できたことはよかったと総括した。ただ憲法力フェは取り組みなかつた。同会は、まだ小さな会で小さな活動だが、基本

改憲の動きをウォッチング

■新型コロナに打ち勝つたあと「改憲に挑戦」

菅首相は「月刊Handa」誌のインタビューで、改憲について「自民党は結党以来、党是として自主憲法制定を掲げているので、憲法改正に向けて取り組んでいく方針は変わらない」と述べ、自民党は改憲4項目を出しているが「新型コロナウィルスに打ちかったあとに、国民的な議論と理解が深まるよう環境を整備し、しっかり挑戦したい」と意欲を示した。

憲法を壊すことに挑戦するとは何事か。言語道断である。

※「月刊Handa」誌は、「保守系オピニオン雑誌」を自称。執筆陣に安倍晋三、桜井よしこ氏の名も。

■空母化進む護衛艦「いずも」 米軍最新鋭ステルス戦闘機搭載可能に

米国製F35B(短距離離陸・垂直着陸可能)の発着を可能にする護衛艦「いずも」の「空母化」への改修が進んでいる。政府は「いずも」で米軍岩国基地に配備している米海兵隊のF35Bを使用

し合い、憲法と日常生活の問題が結びついていると感ぜられる内容にしていくことが今後の課題だと確認した。

今年度は憲法力フェにも積極的に取り組むこと

も確認して総会を終えた。第6回憲法力フェは、「また！介護保険の改悪4月からどう変わったの？」(お話・菊地憲之さん)をテーマに9月11日に開く予定。(新原三恵子)

7月18日に投票された兵庫県知事選挙は、自民党と日本維新の会が推薦する元大阪府財政課長の齋藤元彦氏が当選した。立憲民主党、国民民主党、社会民主党、新社会党と自民党の一部県議員が応援した前副知事の金沢和夫氏は次点となった。報道も投票終了直後、開票箱が開票場に運ばれる前に当確を打つなど、25万票を超える大差がついた。

今回の知事選は、県会与党の自民党県議団が割れて別々の候補を応援する異例の事態から始まった。しかも、西村経済再生担当相や二階自民党幹事長など菅政権の中枢が兵庫県選出国会議員を動かして、齋藤氏を強引に自民党推薦にしたと言われている。その齋藤氏を独自候補の擁立を見合わせた日本維新の会がいち早く推薦し、井戸前知事の後継である金沢氏は自民党県議団の多数派が支援した。

こうした事態の中、金沢氏は「県民党」を標榜し、連合や自治労、部落解放同盟などが推薦。さらに「維新県政をつくらせなさい」中央支配を許さない県政をつくる」との立場で、立憲民主党、国民民主党、社会民主党のほか、「連帯兵庫みな

39.8%が投票。維新支持層では81.8%が齋藤氏に投票。立憲支持層では56.6%が金沢氏に、齋藤氏には24.2%が投票した。自投票を決めた公明支持層では47.1%が金沢氏、40.3%が齋藤氏に投票した。また、無党派層では齋藤氏、金沢氏はそれぞれ約40%で分けた。

政党支持率では、自民が33%、維新が17%、立憲5%、公明5%、共産5%、支持政党なしが25%である。特に、維新17%は驚くべき

とと思う「成長戦略には兵庫との連携を考えながら取り組む」と維新の公認候補が当選したようなはしゃぎぶりだ。自民党が「ひさしを貸して母屋を取られる」結果となった。

一方、井戸県政への評価は3分の2が肯定的で意外に高かった。しかし、肯定派でも後継の金沢氏より齋藤氏への投票が多く、「若さと刷新」を求める結果となった。

ただ、激戦となった知事選だが、投票率は41.10%と前回並みで、投票総数は減少。さらに、齋藤氏の得票率は46.9%で、知事当選者で得票率が5割を下回ったのは初めてで、過去最低である。有権者全体から見れば、19%と2割を切る支持しかないことを忘れてはならない。

今後、先に行われた尼崎市議選や今回の知事選の結果を見ると、兵庫県下で維新の攻勢はさらに強まること予想され、神戸市長選挙や尼崎市長選挙など首長選挙はもちろん、統一自治体選挙などでも対策が急務である。

維新は「政治への不満・変化」を求める市民の受け皿になっているのは事実であり、単純に「自民党の別働隊」「新自由主義政党」と切り捨てるのでなく、「どこがどう支持されているのか」「市民は何を求めているのか」を掴む努力が、私たちに求められている。

栗原富夫(新社会党兵庫県本部委員長)

付けた。ところが、都議選での自民党の敗北を受けて、終盤戦は吉村大阪府知事や松井大阪市長が度々応援するなど日本維新の会が前面に出る作戦をとった。一方、金沢陣営は、自民党本部の締め付けで自民党県議団の動きは鈍く、立憲民主党や国民民主党が前面にでて、連合、解放同盟、県OBや関連団体、商店街振興組合など地域団体が応援する選挙になった。

神戸新聞の出口調査による投票行動をみると、自民支持層では齋藤氏に48%、金沢氏に

7月17、18日。後手後手だと批判されているコロナ対策の失政、東京で4度目の緊急事態宣言が出される中での五輪強行など、国民の怒りが発足以降最低の支持率に押し下げた要因であることは明々白々だ。

(中)

私の主張

こうした事態の中、金沢氏は「県民党」を標榜し、連合や自治労、部落解放同盟などが推薦。さらに「維新県政をつくらせなさい」中央支配を許さない県政をつくる」との立場で、立憲民主党、国民民主党、社会民主党のほか、「連帯兵庫みな

39.8%が投票。維新支持層では81.8%が齋藤氏に投票。立憲支持層では56.6%が金沢氏に、齋藤氏には24.2%が投票した。自投票を決めた公明支持層では47.1%が金沢氏、40.3%が齋藤氏に投票した。また、無党派層では齋藤氏、金沢氏はそれぞれ約40%で分けた。

政党支持率では、自民が33%、維新が17%、立憲5%、公明5%、共産5%、支持政党なしが25%である。特に、維新17%は驚くべき

とと思う「成長戦略には兵庫との連携を考えながら取り組む」と維新の公認候補が当選したようなはしゃぎぶりだ。自民党が「ひさしを貸して母屋を取られる」結果となった。

一方、井戸県政への評価は3分の2が肯定的で意外に高かった。しかし、肯定派でも後継の金沢氏より齋藤氏への投票が多く、「若さと刷新」を求める結果となった。

ただ、激戦となった知事選だが、投票率は41.10%と前回並みで、投票総数は減少。さらに、齋藤氏の得票率は46.9%で、知事当選者で得票率が5割を下回ったのは初めてで、過去最低である。有権者全体から見れば、19%と2割を切る支持しかないことを忘れてはならない。

今後、先に行われた尼崎市議選や今回の知事選の結果を見ると、兵庫県下で維新の攻勢はさらに強まること予想され、神戸市長選挙や尼崎市長選挙など首長選挙はもちろん、統一自治体選挙などでも対策が急務である。

維新は「政治への不満・変化」を求める市民の受け皿になっているのは事実であり、単純に「自民党の別働隊」「新自由主義政党」と切り捨てるのでなく、「どこがどう支持されているのか」「市民は何を求めているのか」を掴む努力が、私たちに求められている。

栗原富夫(新社会党兵庫県本部委員長)

付けた。ところが、都議選での自民党の敗北を受けて、終盤戦は吉村大阪府知事や松井大阪市長が度々応援するなど日本維新の会が前面に出る作戦をとった。一方、金沢陣営は、自民党本部の締め付けで自民党県議団の動きは鈍く、立憲民主党や国民民主党が前面にでて、連合、解放同盟、県OBや関連団体、商店街振興組合など地域団体が応援する選挙になった。

神戸新聞の出口調査による投票行動をみると、自民支持層では齋藤氏に48%、金沢氏に

7月17、18日。後手後手だと批判されているコロナ対策の失政、東京で4度目の緊急事態宣言が出される中での五輪強行など、国民の怒りが発足以降最低の支持率に押し下げた要因であることは明々白々だ。

(中)

7月17、18日。後手後手だと批判されているコロナ対策の失政、東京で4度目の緊急事態宣言が出される中での五輪強行など、国民の怒りが発足以降最低の支持率に押し下げた要因であることは明々白々だ。

(中)



# 西宮で「生き生きカフェ」

## 「安田真理と歩む市民の会」が主催

「学校教育と不登校問題を考える」をテーマとした第1回いきいきカフェが7月25日、西宮市内で開かれた。安田真理と歩む市民の会（共同代表・石塚健氏ほか）が主催した。



「学校教育と不登校問題を考える」をテーマにした「生き生きカフェ」=7月25日、西宮市

地域から不登校問題に取り組み田中あきよさん（西宮市議）、学校現場からは小学校教員OBのOさんの2人の報告を受けて意見交換が行われた。田中さんは「不登校は親の責任だと思いがちだが、学校には同じ境遇の子どもが何人もいることに気づき、社会の問題ではないか」と思い始め、子どもと親の居場所づくりが始まった」と報告。「背景には親の失業・貧困など社会問題がある」と思っ。夏休み明けには自殺が増える。命を守る教育って

何だと思ってしまう」などと提起した。Oさんは、「学校現場の酸素量がどんどん減って息苦しくなっている。20代の教員の4割が辞めたい」と回答したアンケートもある。いま現場では、教員にも子どもにも、いろんな場面で目標が設けられ、達成できなければ教員や子どもの自己責任となる」などと報告。意見交換では、不登校支援に取り組み元教員や子育て中のママさんなどから、少人数学級の早期実現や安心できる地域環境整備を求める声があがった。

安田真理・7区予定候補は「普権の支持率が大きく低下している。政権交代のチャンスだ。何としても勝ち抜きたい」とあいさつ。市民の会では、安田勝利へ力を合わせていくことを確認するとともに、2回目の生き生きカフェも企画することになった。

## 市民デモHYOGO シリーズで学習会

「市民デモHYOGO 学習会」の第2回学習会が7月24日、神戸市勤労会館で開かれた。「憲法」シリーズの第1回で、「施行74年 憲法の現在地を」をテーマに講師の片

岡隆さん（芦屋「九条の会」）が、憲法制定過程から改憲が焦点となる今日に至るまでの憲法をめぐる情勢をいねいに解説。いま憲法の運動に問われている課題について

も問題提起を行った。この学習会は、政策力の向上やネットワークの拡大を目標に、沖繩、憲法、貧困・格差、原発の4つのテーマについて各6回シリーズ（計24回）で学習会を重ねよう」と企画されたもの。次回第3回（「いのちと暮らし」第1回）は、

8月28日（土）14時30分～17時、神戸市勤労会館で（会場参加は定員20人）先着順。参加費300円。オンライン参加は定員なしで無料。テーマは「豊かな日本」の貧困格差問題で佐野修吉さんが講師。申し込みは、onivama24outlook.jp（西信夫さん）まで。

## 地域ユニオン あちこちあれこれ

この1年、私たち熟年者ユニオンはまさに「コロナとどうつきあうか」の日々だった。表面は「毎日が日曜日

の私たちが、思うように動けないもどかしさは現役労働者と同じだ。神戸市に対する敬老・福祉パス見直し反対のたかひは署名集めと市議会への請願、陳情となった段階で、「神戸市内にコロナ感染者が発生したと議会（総務財政委員会）も一時中断する事態になるなど、私たちの盛り上がる機運に水をさすことになった。

収入の大部分、いや、ほとんどを年金に頼っている私たちは、安倍前首相が唱えた「全世代型社会保障改革」を見逃すわけにはいかず、年金・医療（生活保護）を計画した

後期高齢者医療保険制度改悪は許さない

「後期高齢者医療保険制度」改悪法は、「緊急事態宣言下から不要不急の行動は差し控える」と言いながら、不要不急の法律を、国会の会期末に十分な議論抜きに、し

かも当事者抜きで成立させた。全国からの高齢者が国会を取り巻くデモが行われていても不思議なことではないが、コロナを逆手にとって姑息にも成立させたのだ。この法律は2008年

が後期高齢者に達するのでも手直しする」と政府は言うが、発足当時から分かってきた。場当たり的でその場しのぎの言い逃れだ。私たちはいまこの法律に対してはこれは廃止すべきだとする基本的な方向を確認し、来秋に実施されようとしていることに対するたたかいを組み立てていきたい。加納功（熟年者ユニオン事務局長）

# 夏こそ昔ながらの梅干しを活用しよう！

### 「梅は医者いらず」「梅は三毒（水毒・食毒・血毒）を絶つ」

●昔ながらの言い伝えには、科学的に証明されていることが含まれています。梅のクエン酸は新陳代謝を促し、体内の老廃物の排出を促進します。ピルビン酸は肝機能の強化に有効といわれています。ムメフラールという成分は、血液中にコレステロールが溜まるのを抑え、酸素や栄養分の供給がスムーズになることで、老廃物の排出を促進し、疲労回復が期待できます。毎日の食事で摂取したいカルシウムは吸収効果が悪く、なかなか体に定着してくれない栄養素ですが、梅の持つクエン酸にはカルシウムや鉄の吸収を促し、骨から持ち出されるのを防ぐ働きがあります。

●ところで、塩分が心配だからと最近では減塩調味された「調味梅干し」を利用する方が多くなっています。一旦梅干しとして漬けた後、水に浸けて減塩様々に味付けされます。嗜好品として食べるのであればそれで良いのですが、梅干しの持つ機能を発揮できるのは、昔ながらの梅干しです。1日1個の梅干しで、夏バテ予防！昔ながらの本物の梅干しを日常の暮らしに使ってください。



### 昔ながらの梅干し

300g 1,500円

中本農園（無農薬栽培梅使用）

（有）ぴいがる

神戸市長田区四番町6-8

電話/FAX 078-531-0135

2合の米に、昔ながらの梅干し1粒を入れて炊飯！ご飯が傷みにくくなるという、昔ながらの知恵です。さっぱりとした味わいになり、汗で失った塩分補給になります。ご飯に載せた梅干を食べるとは全く違う味わいです。



# おんなの目

コロナ禍の中、色々な問題を抱えながらオリンピックが開催されました。コロナに脅かされる非常時に人間は何を優先するのか。それぞれの場面で人命か、経済か、選択を迫られます。経済を回すために弱い人がどんどん切り捨てられていきます。悔しいですね。今さらながら「1人は万人のために、万人は1人のために」の精神の大切さを実感しています。

「NPO花たば」にとっても今、設立以来の大きな課題を突きつけられています。

2004年設立時は、困難な課題も「夢」を語りながら絆を強め、仲間を拡大して解決してきました。そして、「いつでも一人になれる、いつでも誰かに会える、いつでも誰かにまかせられる」——そんな高齢者住宅を4年間かけて建設しました。今思えば何と無謀なことをしてきたか。銀行はNPOにはお金を貸してくれません。仲間の協力があってこそ実現したのです。「花たば」は「夢」を形にし、スタッフも確保し、軌道に乗せてきました。

しかし、それを継続し繋げていくという大きな課題が、創った者の責任として今課せられています。「建てた建物はいつかは壊さないといけない。

壊す費用を担保するのは建てた者の責任だ」と義母が言ったことを思い出します。今102歳、デイクアでは最高齢でみなさんの目標になっているそうです。義母の凛とした背中を見ながら自分はどうだろうと自問自答を

てくれています。その子どもたちに教えられることも多いです。R学院の生徒たちは卒業しても次に引き継いでくれます。また、彼らはインドのハセン病の方たちのため毎月寄付を集め、何年も支援を続けています。その額を聞いて驚きます。継続していく力に敬意を表します。大人も負けてられませんね。

継続するにはなんと言っても人材と活動資金が必要です。それを作るためにも「花たば」は一大決心をし、水道筋6丁目にあった2店舗を1つにして水道筋3丁目に引っ越すことにしました。地域活動ネットワークステーションとして、NPOと市場・商店街の方たち、そして高齢者はもちろん子どもたちと繋ぐ拠点とし活動します。ひとりひとりが差別されることなく大事にされ、平和で安心して暮らせる社会を、そして笑顔が絶えない街を創るため、もうひと頑張りします。

「花たば」を支援協力していただける方、是非お声掛けください。お待ちしております。

ひとりひとり、みんな本当に頑張っています。それがなかなか報われませんが、コソコソと築いてきたゴミ出しサポートでは、中学生・高校生がサポーターとして活躍しています。

## 持続し繋げていく課題



(須見恭子)

### 『新装版 電通の正体』

『週刊金曜日』取材班編著／金曜日／1400円＋税

問題だらけの東京五輪が横行されているが、マーケティング専任代理店として、誘致から開催までのほとんどを仕切っているのが電通だ。

電通は、商業五輪の始まりと言われる1984年のロス五輪に参入して巨利を得た。それ以来、スポーツイベントで業績を拡大してき、東京五輪では、スポンサー枠を強引に増やして管理料だけで800億円以上稼ぐという。

先頃も、多額の持続化給付金事業の委託料が電通に流れ、ピンハネなど問題になった。国内最大とはいえず、一広告業者に過ぎない電通が、なぜこれほどまでに国の事業を独占的に請け負い、利権を手にできるのか？

### 本棚

## ベン・ハー

物語の舞台はエルサレム。紀元26年、ユダヤ人が住む辺境のイスラエルでは、政務を担う総督の交代が迫っていた。裕福なユダヤ貴族の若者、シユダル・ベン・ハーは、ローマ軍司令官として戻ってきた旧友メッサラとの再会を喜ぶ。イスラエルを治めるために赴任したメッサラは、王家の流れ

を汲み人望のある友人ベン・ハーに、ローマ側に協力するよう求めるのだが、ユダヤ人がローマ人に苦しめられていることに心を痛めていたベンは、その依頼を断る。新総督を迎えた日、ベンとメッサラが滑り落ちて総督の行列の中へ落下する。暗殺を疑われたベンをメッサラは弁護することなく、奴隷の身分に落ちた上、死ぬまで船の鎖につなぐれ、漕ぎ手となる処分を下す。その混乱の中、母のミリアムと妹のティルザの行方がわからなくなってしまう。

## フィクサー企業の実相に迫る

主要メディアは、企業の生命線と言え、広告収入を支配されているため、電通報道をタブー視している。そんな中、地道に取材活動を積み上げ、その正体に迫ったのが本書だ。1955年、自民党の誕生と時を同じくして改名した電通が発足。「55年体制」の一方の

そもそも、電通(の前身)は戦前から国・軍部との結びつきが強かったが、敗戦後、戦犯として追放されていた政財界人、満州浪人などを積極的に採用した。占領軍が日本支配のために戦犯を利用し始めると、電通がスカウトした大物達は次々と支配層の一線に復帰し、政界、官界、財界、マスコミ界に巨大なコネクションを築いていった。この手法は現在まで引き継がれ、高級官僚

まりだ。1998年の沖縄知事選挙では、社員50人を送り込んで、県政不況キャンペーンなど広告宣伝技術を駆使し、「沖縄の顔」大田昌秀を破り、「攘打候補」稲嶺惠一を当選させた。小泉純一郎の総裁選戦略も担当し、「自民党をぶっ壊す」聖域無き構造改革」などワン・フレーズ・ポリティクスをアドバイスして政権を支えたのも電通だ、など。

## シネマランド

### アカデミー賞史上最高の11部門受賞



告げる。帰国の途上でベンは、アラブの富豪エルサレムへ戻った後、メッサラとの戦車競争に臨む決意を固めるのだった……。

上映時間212分の大厚さは決して出せないだろう。2016年にリメイク版が作られたそうだが、さほど話題にならなかったところを見ても、今後も再現は不可能ではないか。インタミッシヨンの言われる劇中に挟まれる休憩の場面も現代映画では皆無なので、新鮮であり長尺の鑑賞で一息つけることが心地よく感じた。

米アカデミー賞の11部門を受賞したこの作品は、のちに「タイタニック」等に並ばれることにはなるが、いまだ破られていない輝かしい記録である。不世出のスペクタクル映画として、今後も語り続けられるだろう。(直)

監督：ウィリアム・ワイラー  
1959年/米/1959年/212分